



1 久しぶりの再会を喜ぶ成人者たち 2 多くの人がスマホで記念撮影 3 霜の降りる斜面を元気に駆け上る 4 ぜんざいの振舞いを受け取る新成人 5 手で土を硬めて、しっかりと苗木を植え付ける 6 腰を入れて、土を耕す 7 協力しながら笑顔でイロハモミジの苗木を植える二人 8 成人の誓いを述べた多田さん



# ふるさとに 思い出刻む

## 第69回成人式



### ■ 成人の声

**兼田 遼一さん**(20=上里2)  
福岡の洋菓子店に就職します。やってきたことをこつこつと継続して、仕事を頑張りたいです。

**伊藤 浩之さん**(20=野中田1)  
久しぶりにみんなに会いました。素の自分が出せる場所で楽しかったです。

**赤池 宏斗さん**(20=瀬戸口)  
仕事を頑張って立派な社会人になりたいです。

## 第69回湯前町成人式は1月4日、宝陀寺駐車場

一帯で開かれ、町内外に進学・就職した新成人37人が植林で仲間や地域のひとの思い出を心に刻みました。

本年度の新成人は平成10年4月2日から平成11年4月1日生まれで、本町出身・在住の45人が対象。新成人たちは前日、レールウイングのウッドデッキに集まり、振袖・スーツ姿で記念撮影。その姿とは打って変わり、スニーカーにジャージ姿で集まりました。

式典には120人が出席。中学生時代の恩師や区長、青年団長、地域婦人会長、住民ら



が新成人を温かく歓迎しました。代表者の多田恵太さん(20=馬場)が「社会人としての義務と権利を与えられたのも、育ててくれた両親や地域の皆さんのおかげ。いかなる時も自分を見失わず、明るく正しい社会人として頑張っていきたい」と答辞、金子紗也佳さん(20=下染田)が大きな声で交通安全を宣言しました。

記念植林は駐車場となりの町有林で行われました。今回は、宝陀寺の景観をよくしようと、イロハモミジ150本を用意。新成人たちは霜が降りた山の斜面を元気よく駆け上がり、クワで土を掘って1畝ほどの大きな苗木をしっかりと植えました。

植林中は旧友や地域のひとの会話もはずみ、終始笑顔があふれていました。植林後はゆのまえ温泉「湯楽里」のスタッフが振る舞う、ぜんざいで体を温めました。新成人全員に、町から地元の球磨焼酎が、地域婦人会からは湯楽里の入浴券が贈られました。